

韓国の英語の教育格差と その対策

東京経済大学

カレイラ松崎順子

はじめに

隣国の韓国では1997年度に英語が小学校に導入されたが、その前後から早期英語教育が過熱化し、所得が多い家庭の児童は英語塾に通い、また、海外へ早期留学に行くことができるなど親の所得が子どもたちの学校以外での英語学習への参与、さらには英語力に影響を与えるなどの問題が生じてきた。ゆえに、韓国政府は所得による格差から生まれる英語力の格差をなくすために、様々な対策を行ってきた。

子ども英語図書館

韓国の英語教育

韓国は日本以上の学歴社会であり、そのため、親の教育熱は高く、親は小さいころから子どもの教育に投資しており、塾通いや家庭教師などの私教育費の増大が大きな社会問題になっている。科目別に見ていくと、私教育費を最も多く投資している科目は英語であり、全体の約3分の1を占めている。

韓国の私教育に対する対策

1960年代から私教育費が深刻な問題となりはじめた。

1968年中学校無試験進学制

1973年高校平準化政策

1980年学院(日本の塾)や家庭教師などの私教育が全面的に禁止

2000年に全面的に解除

Information and Communication Technology(ICT)を教育に取り入れてきた。

EBSi

2004年4月1日にオープンした修能試験対策講座の専門サイト。

2009年6月3日に教育科学技術部はEBSiからの修能試験の出題率が今までは3割程度であったものを、EBSiが修能試験出題を企画段階から担当し、修能試験の7割をEBSiから出題することを発表した。

EBSi

EBSiには英語に関する講座は全部で162講座ある。

高校3年生や浪人生のための講座が68講座

高校1・2年生に関する講座が88講座

大学別の対策講座が6講座

Korean Educational Broadcasting System English (EBSe)

2007年4月に開局した英語番組専門放送チャンネル幼児向けの番組が30

小学生向け番組が75

中学生向けの番組が69

高校生向けの番組が13

一般および父兄のための番組が40

教師用の番組が11

予算不足から縮小

朴槿恵大統領就任以降，予算不足から経費がかかるICTを利用した教育政策が次々と縮小された(カレイラ, 2018)。

デジタル教科書

4技能をはかる英語の大学入試テスト

スマートラーニング

放課後学校

1995年頃から「放課後学校」の前身である「放課後教育活動」が始まった。「放課後学校」とは義務教育の補習授業というよりも、塾などで行う授業を学校内で安く受けられるようにしようという趣旨で導入されたもので、多様な教育機会提供というよりは私教育費節減という社会経済的機能の目的がより強調されている。なお、2003年末から「放課後学校」という用語が使われるようになった。

通常の編成外の学校教育課程の運営は違法であるとする「先行学習禁止法」が2018年3月から本格的に施行され、これにより放課後学校での先行学習が出来なくなった。特に、英語の授業は小学校では小学3年生からはじまるため、放課後学校で小学1・2年生に英語を教えることは先行学習になり、小学1・2年生に対する英語の教材を使用した学習の是非をめぐり激しい議論が展開される中、放課後学校で行われていた小学1・2年生の英語の授業の代替として子ども英語図書館が注目されようになった。

英語村

地方自治体がはじめた。

韓国の英語村の調査を行った結果、近隣の児童は英語村を廉価で利用でき、特に、低所得者の家庭の児童には補助があるなど教育的観点から日本が見習うべき点が多いが、維持費がかかりすぎるため、多くの英語村が民間に払い下げ・閉館になっていることがわかった。

韓国の子ども英語図書館

莫大な予算をかけて開発したICTを利用した教育改革は途中で縮小または、計画倒れになるなど、英語村も含め、巨額な予算・経費・維持費がかかる教育改革はリスクが高すぎると感じた。そのような中、子ども英語図書館は地味ではあるが、費用対効果が高い

→キャンプや英語講座などの体験活動を無料または廉価で提供

「釜山広域市立中央図書館別館釜山英語図書館」(釜山英語図書館)

韓国で最初に公立の公共英語図書館として設立された

2009年の7月1日に英語村であるBusan Global Villageと同じ敷地内に開館

会員登録は無料で、すべてのプログラムへの参加も無料である。ただし、会員になれるのは釜山市に在住の市民のみである。



「釜山広域市立中央図書館別館釜山英語図書館」(釜山英語図書館)

2013年5月30日に釜山英語電子図書館を開館した。






2018年1月に会員数は61,830名に達している。

英語の図書 約60,000冊以上



 **Green Corner**
(Children)

이 공간에 특별한 의미를 부여한 것은
프린트와 컬러를
인쇄하는
기관서 이용 안내

-  기관서 이용 안내입니다.
많은 사람들이 이용할 수 있도록
많은 사람들이 이용할 수 있도록
-  다들 이용하시길 바랍니다.
많은 사람들이 이용할 수 있도록
많은 사람들이 이용할 수 있도록
-  필요한 것을 찾아주세요.
많은 사람들이 이용할 수 있도록
많은 사람들이 이용할 수 있도록
-  관공서 기관서 이용 안내입니다.
많은 사람들이 이용할 수 있도록
많은 사람들이 이용할 수 있도록
-  기관서 이용 안내입니다.
많은 사람들이 이용할 수 있도록
많은 사람들이 이용할 수 있도록

World for Kids

World for Kidsは、児童用のスペースで3つの部屋

Read to Meは就学前の子供が両親と一緒に本を読んだりするのに利用できる部屋

Fun Reading for Kids英語の童話の読み書かせを行う

Magic Clubと常設プログラムを行うStory Clubがある。



英語読書診断

SRI (Scholastic Reading Inventory)

SRC (Scholastic Reading Counts)

SRIとはLexileを測定して、その能力に合った図書を推薦するコンピュータプログラムで、SRCとは本を読んでその本に関する問題を解く事後クイズプログラム(約10問題)で、自身が読んだ本の理解度を知ることができる。

毎日実施しており、試験を受けたい場合は釜山英語図書館のホームページから申請する。

読書振興特別プログラムReading Star

SRIを受験し、自身のレベルに合った図書を読んだ後、SRCを受験し自己の読書能力向上度を測り、さらに、読書レポートを英語で書いて英語の母語話者に添削してもらおう自己主導型英語読書能力増進プログラム。

時期：毎年4月から10月まで(7ヶ月間)

参加資格：釜山市内の小・中・高校生120人程度

なお、参加の機会を広げるため昨年度の参加者は申請できない。



児童の英語プログラム

英語プログラムはすべて無料で参加でき、すべて先着順であり、プログラムによっては、募集後すぐに定員に達するプログラムもあるという。

英語教育常設プログラム

家族対象(就学前児童・小学1・2年生対象)のプログラム

Read & Create with Family I

保護者・児童(6,7才)対象: 英語の絵本を読んで創意的創作活動を行う。

Read & Sing with Family I

保護者・児童(6~7才)対象: 100L水準の英語童話の本の読み聞かせと歌を歌う。

小学3・4年生対象のプログラム

Reading Starter I

200L水準の本を読んで自身の考えを発表する。

Reading Starter II

200L-300L水準の本を読んで自身の考えを発表する。

Step-up Reading I

300L-400L水準の本を一緒に読んで自身の考えを発表する。

Step-up Reading II

400L-500L水準の本を一緒に読んで様々な読書後の活動を行う。

Media Magic

多様なメディア(映画, アニメーション, ビデオクリップ, 音楽など)を活用して英語表現を習い, それに関連した活動を行う。

Topic Activity(深化)

多様な主題の本を読み, 読書後それに関連した活動を行う。

小学5・6年生対象のプログラム

Step-up Reading II (深化)

400L-500L水準の本と一緒に読んで、多様な読書活動を行い、自ら本を読めるようになることを目指すプログラム。

ENIE(平日)

英字新聞社説を通じて英語学習を行う。

Intensive Reading

英文を一人で読み始める児童を対象に、チャプターブックを読んで多様な読書活動を行う。

Topic Discussion

多様な主題でグループ討論活動を行う。

ENIE(週末)

英語母語話者の教師と英字新聞を読んで1:1の個別添削指導を受けて短いエッセイを書く

一般を対象のプログラム

Reading Alive I

文化・芸術分野ニュースを活用した英語学習を行う。

Reading Alive II

社会・科学分野ニュースを活用した英語学習を行う。

BEL Bookworm

英語母語話者の教師とともに英語の本を読んで分析・討論を行う成人対象プログラム。

Read & Talk

本を読んで一定の主題に関して話す成人対象プログラム。

Cinema World

英語の映画上映(土曜日・日曜日)を行う。

ボランティアの活用

Reading Buddy

週1回小学生(メンティー)と中高生(メンター)で構成されたグループ活動で、英語童話の本を共に読んで正しい読書習慣を形成して参加者皆が英語に対する興味と自信を持てるようなことを目指すボランティアプログラム。

メンター:英語童話の読み聞かせ活動を誠実に遂行できる中・高校生

メンティー:英語童話を読み聞かせてもらうことに関心がある児童・小学生

なお、参加の機会を広げるため昨年度の参加者は申請できない。

Fun Reading with Volunteers

ボランティアメンバー(成人)が児童・小学1・2年生を対象に月～金の毎日英語の本を読むプログラム。

長期の休み(夏休み・冬休み)プログラム

Essay Writing

中・高校生: 実際的な文を書く練習の機会を提供して, 指定図書を読んで与えられた論題に対してエッセイを書くプログラム。

夏休みに実施 毎日3時間ずつ, 4日間, 合計12時間

Read and Speak

中・高校生: 読書討論, 新聞記事書き, Public Speakingを通してコミュニケーション能力および論理的思考能力を伸ばすプログラム。

冬休みに実施 毎日3時間ずつ, 4日間, 合計12時間

BEL Reading Camp

夏休み(小学3・4年生)冬休み(中学生)に実施

英語読書を通した多様な体験機会を提供して英語学習に対する意欲を高め, 文化の多様性を認知して, 夏休み・冬休み期間に行う公教育強化のためのプログラム。

長期の休み（夏休み・冬休み）プログラム

Family Book Party

小学校5～6学年と家族1人：家族と共に行うスピードクイズ。

BEL Book Quiz

中学生：英語読書クイズを通じて中学生の英語読書に対する関心を拡大して英語読み取り能力を伸ばすプログラム。

保護者のための Storyteller教室

子供の英語読書力向上および英語読書習慣の形成のために、保護者や一般人が本の読み聞かせ理論を学ぶプログラム。

訪問英語童話読み聞かせ

英語母語話者が近隣地域児童センターを訪問して行う英語の本の読み聞かせ活動。

英語読書動機づけ向上プログラム

Kids Animation

進学前の児童に英語字幕アニメーションを通じて英語に対する興味と英語を聞く能力を向上させるためのプログラム。

Cinema World

英語字幕の映画を見ながら英語に対する興味と英語を聞く能力を向上させるプログラム。

Book Quiz

英語読書に対する興味を高めるために毎月一冊の本を選定して本の内容に関する多様なクイズを出し、正解を応募用紙に記入して応募し、毎月3名を抽選して所定の商品を贈呈する。

公教育支援

教師研修

教師研修を行っており、主に読書を通してどのように英語で討論するかについての理論と実践について学ぶ。夏休みには中学校の教員20名、冬休みには小学校教員20名を募集している。具体的には火曜日～木曜日4時間および金曜日3時間、合計15時間の研修を行っている。講師は釜山英語図書館所属の英語母語話者が行う。

学校団体貸出

釜山市内の小中学校に英語の図書(1校あたり100冊以内)の貸し出しを行っている。

Teacher's Book Club

英語教員のためのプログラムで毎月第1・3土曜日に英語の指定図書を読んで釜山英語図書館所属の英語母語話者とともに与えられた主題に対し討議や討論を行う。

中学生英語読書サークル

中学生を対象にした中学生英語読書サークルであり、英語の図書を読んで課題を作成し、クイズを解き、さらに、釜山英語図書館所属の英語母語話者と討論を行う。

日本への示唆①

こども英語図書館は、英語と接する機会が不足する EFL(English as a Foreign Language)環境の児童にとって、持続的な英語の入力手段として効果的である。

廃校になっている学校や既存の公共の図書館の建物を改装するなど英語のみの空間を提供

日本への示唆②

ボランティアの活用

日本への示唆③

英語読書診断テストを活用したプログラム

韓国の子ども英語図書館

https://www.youtube.com/watch?v=mkALbc_zzT0